



平成 24 年 01 月 01 日発行
第 6 号
京田辺市観光ボランティア
ガイド協会広報部編集
☎ 0774-68-2810

平成 24 年新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災や近畿地方の台風 12 号による災害などが有り、色々と考えさせられる年でもありました。

京田辺においては第 26 代継体天皇が樟葉宮から我が町京田辺に遷宮され筒城宮を開かれて 1500 年の記念すべき年にあたり、当協会をはじめ京田辺市をあげて企画が満載、特に「筒城宮遷宮 1500 年記念シンポジウム」では、学術的な観点から歴史学者による講演があり、いにしへの想いに浸れた 1 日でありました。

当協会としては e-ラーニングによる発表をはじめ、筒城宮の候補地を巡る継体ウオークの企画等を先輩諸氏の指導のもと会員各位が協力して参加できました。また昨年からはじめた座学研修と銘うって定例会のはじめに知識の水平展開を行うなど貴重な一年でもありました。今年は 4 期生の募集も含め会員の益々の発展と知識の向上に努めたいものです。

(副代表村上格也)



村上格也副代表

シリーズ 京田辺の寺院仏閣巡り

発迎山 両讃寺

両讃寺は大住八河原の静かな旧村にあって、浄土宗のお寺です。江戸時代の初期(慶長 6 年)に創建されたという。

寺伝によると、当時の領主大住家友は、この地の西村の阿弥陀堂、東村の釈迦堂を尊信していたが、織田信長に敗れ両堂とも荒廃した。慶長年間(1596 年～1615 年)、願故上人を請じて寺住となし、発迎山両讃寺と号すとあります。



両讃寺山門

本尊は阿弥陀如来立像であるが、他に元月読神社内にあった福養寺薬師堂から移された薬師如来立像も安置されています。

この薬師如来立像が平成 23 年に京田辺市指定文化財に指定されました。本像は平安初期の作といわれ、像の高さは 130cm 一木造りです。また特色として肉髻はあるが螺髪が無く、頭部は鏝無しの帽子を被っているようです。肩や腹部の依紋は深く、脚間は U 字型依紋であり、背無畏印の右手及び薬壺を持つ左手の高さと角度は、神護寺の国宝薬師如来立像のそれと似ているようです。本堂外陣の四隅には四天王立つ像が安置され、多くの他の仏様を守護しています。

数年前に伺った時には樹齢 300 年以上経過したと思われる見事な臥龍の松が枝をのばしていましたが、今日(23 年 6 月)の拝観時には、その面影はありませんでした。残念ながら 22 年の秋頃に枯れてしまったとの事でした。

『錦秋の京田辺に継体天皇宮跡を訪ねて』

実施日：11月19日

行程：筒城宮跡→酒屋神社→田辺警察署付近→中央公民館資料室→堀切古墳群→一休寺→甘南備寺→棚倉孫神社→京田辺駅

今日は朝から雨模様、昼からはさらに強くなるとの予報。すこし早めに集合場所へ行く。当初の参加予約は二十数名だったが、案の定8名の参加者に留まった。



薪・堂の後付近

寒いので少し早めに出発。筒城宮跡～酒屋神社を経て、田辺警察署付近では興寺の話をし、中央公民館資料室で武人の説明。雨が本降りになってきたので中央公民館のロビーで昼食。雨の花見も視界が悪く説明を簡略にする。堂の後へ入内し、堀切古墳へ。石碑のみとはなんととも残念。薪神社の影向石の説明をし、一休寺へ。紅葉にはすこし早いですが、雨に煙る風情もひとしお。ここで2名の方が一休寺を拝観希望。6名の方を案内。

甘南備寺で薬師如来座像を見学し、耳石にも興味を持たれた様子。



棚倉孫神社では瑞饋御輿に興味を示された。甘南備寺から棚倉孫神社までの道が悪く、靴の中までびしょびしょ。予定より早く午後2時半ごろ京田辺駅に着く。「雨の中、案内御苦労さん」の声を聞き、疲れも寒さも吹っ飛ばす。楽しかった1日でした。(土居貞)

平成23年度京田辺観光VG管外研修報告
テーマ：『一休さん関連を中心に堺、住吉界隈を巡る』

実施日：12月6日(火) 13名の参加

行程：①堺市役所→②南宗寺→③仁徳天皇陵→④堺市博物館→⑤住吉大社

初冬の曇り空の中、市役所を出発、高速を渋滞もなく堺へ到着。

①市役所展望ロビーから堺の町並みを360度の大パノラマとして眺望。

②臨済宗大徳寺派寺院で千利休など著名な茶人たちが修業をした禅寺。一休から伝わるお茶の歴史を学び千家一門の墓をお参り。

仏殿天井から常に自分を見つめる「八方睨みの龍」と、大坂夏の陣で倒れ祀られたという家康の墓を見学。近くに一休が子供の紹偵と住んだ集雲庵があったという。



南宗寺

③日本最大の前方後円墳。墳丘は三段、三重の濠、陪塚古墳は10基以上あり、5世紀中に築造。その規模に圧倒される。

④歴史文化が分かる出土品・文化財展示を見学。

⑤四つの本宮をお参りし、森女と出会った招魂社(薬師堂跡)を見学。

政令都市、堺の観光資源の整備状況(コース、案内、情報提供)の素晴らしさを痛感。①～③では堺市観光ボランティアガイドから丁寧で分かりやすい説明を受けた。豊富な知識ともてなしの心でガイドされている姿に我々も勉強させられた。

(伊藤)

「ふるさと普賢寺体験学習」に参加して

12月3日(土)に「東大寺から宇治を一望しながら雲上大遠足」と銘打った普賢寺の地域遠足にガイドとして参加させていただきました。天気予報では雨になる可能性が大きいとのことで心配しておりましたが、途中で少し小雨に会ったものの、笠上神社での昼食が終わるまでは時折陽射しの差し込むますますの天候に恵まれ、錦秋に彩られた景色を楽しみながら全員無事に普賢寺小学校まで帰ってきました。

前日までにコースの下草刈りや案内標識の整備をされ、当日は手作り弁当と味噌汁、そしてデザート柿の用意、炭焼窯でのスルメ焼きなど準備万端整えられた世話役の皆さんのご尽力と温かい心遣いを肌で感じることができました。



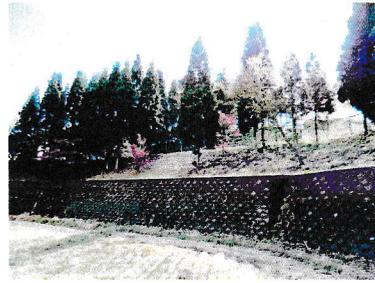
高船地域の棚田風景

参加された子供たちには、彩り鮮やかなふるさとの秋景色の中で地域の人たちの温かい心に触れたこの一日は懐かしい思い出の一つとしてきっと心の中に刻まれただろうと思いました。(山口)

継体天皇筒城宮遷宮 1500 年記念

市民ウォーク報告

今年は遷宮 1500 年記念の年であり、ボランティアガイド協会も e ラーニング講座等色々な行事に取り組んできました。今回その集大成として、宮跡の全候補地 7 ヶ所をガイドしました。第1回目は 12 月 23 日の午前中、田辺高校北東部付近と飯岡古



新小学校校庭の北面(堀切古墳)



武人埴輪

墳群の2カ所、第2回目は同日の午後、越前付近と観音寺付近と都谷(筒城宮跡石碑)の3カ所、第3回目は 12 月 24 日の午前中、堂の後と田辺警察署付近の2カ所についてウォークを実施しました。両日共天気に恵まれ、参加者は3カ所合わせて58人でした。参加者の中には京都市や奈良市等市外から来られた方や、今まで実施した全回数を全て参加したという方、そして20日に実施したシンポジウムにも参加された方などがおられました。

各候補地ともこれといった考古学的な証拠が発見されない中の説明でしたが、古代から人が住み、色々な活動をしてきた京田辺の史跡や伝承話等を紹介しました。

(守口)

JR ふれあいハイク冬号のご案内

平成 24 年 2 月 25 日(土) 『京田辺 早春の隼人の里を歩く』を実施いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

コース：JR 京田辺駅(9:45)～甘南備山～竜王青少年野外センター(昼食)～月読神社～JR 大住駅(15:30 ごろ)

参加費：200 円、申し込み先・京田辺市観光案内所 Tel 0774-68-2810、Fax 0774-68-2817

[市内観光は観光ボランティアガイドをご利用ください。](#)

1 グループ 15 名以下とし、1 グループにつきガイド 1 名がつき、1000 円を頂きます。

詳細は観光案内所にお問合わせください。

シリーズ ガイド豆知識

「屋根の知識」 その3

今回は屋根の葺き方について勉強します。
屋根葺きには次の種類があります。

①草葺：以前は比較的容易に手に入ったが
近年難しくなった。

イ、茅葺：茅、菅、大薄、葦、葭等で葺いたものを全て茅葺きという。

ロ、藁葺：稲等を乾燥させて使用する。

草葺きで穂先を上に向けて葺くのを真葺、穂先を下に向けて葺くのを逆葺きという。



安国寺(綾部市)

②板葺：脂肪分のある木材が使用される。
板の厚さで呼び名が異なる。

イ、栩葺：15mm～30mm



光明寺(綾部市)
二王門(国宝)

ロ、木賊葺：4.5mm～6mm



福王寺(京都)

ハ、柿葺：3mm以下

檜、榎、椴等が使用され蓑甲にしやすい。



金閣寺

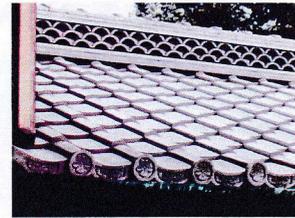
③檜皮葺：檜木の皮を長さ75mmに切ったものを12mmずらして葺く。近年は入手が非常に難しく、檜皮葺職人も少ない。



酬恩庵
本堂

④瓦葺

イ、棧瓦葺：S字型の平瓦で葺いたもの。



ロ、本瓦葺：丸瓦と平瓦を交互に葺いたもの。



海宝寺
(京都市)

ハ、行基葺：行基瓦を使用して葺いたもの。



宝塔寺
(京都市)

⑤銅板葺：近年草葺きの上から銅板で蓋う。
屋根が増加してきた。